

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
中区魅力発信事業		中区役所企画総務課			
事業目的	事業内容	活動指標	R2	R3	R4
市の伝統産業・地域資源の魅力を区内外へ広く発信し、文化芸術に触れる機会を提供する。これにより、歴史文化資源を身近に感じてもらい、もって、区民の地域への愛着を深めてもらう。	市の伝統産業である注染製品の販売会を開催する。	販売会の満足度 (アンケート結果)	79%	89%	99%
		販売会における購買者数	644人	218人	151人
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 市の伝統産業である注染・和晒は、その製造工場が区内に多く所在しており、区の地域資源と言える。こうした地域資源の魅力を発信を、区が事業として実施することに妥当性がある。	○ 協同組合オリセン・堺注染和晒興業会と連携し、販売会の企画・開催を行った。	△ 市の伝統産業である注染・和晒の製品を実際に手にとって見てもらえる良い機会である。しかし、来場者が年々減少しており、来場者の新規開拓については伸び悩んでいると言える。	○	協同組合オリセンに販売会の物品の用意や設営等を行ってもらうなど、経費の支出を抑えつつ、一定の効果を挙げる事ができた。	
⑤自立発展性	総合評価				
◎ 今年度の販売会では、組合に会場レイアウトの作成・設営を担ってもらった。これにより、組合に自ら販売会を開き、自立して発展していくきっかけを提供できた。	○	今年度は新デザインの商品を販売したこともあり、販売会における満足度は向上した。しかしながら、コロナ禍におけるマスク需要が落ち着いてきたこともあり、購買者・売上とも減少した。今後は、新規来場者・購買者を増やすための工夫が必要不可欠である。			
今後の方向性(課題、改善提案等)					
継続	今年度の購買者は、前年度も買いに来てくれた人が大半を占めていると思われる。今後新規の購買者を増やすには、業界が新たなニーズを汲み取り、ニーズに適した商品を販売し、広報する努力が必要である。区としては、販売商品の拡大やPR方法の工夫・改善だけでなく、注染の実演の見学会の開催などを提案することで、来場者の増加を狙い、もって伝統産業の振興に寄与していく。				